

平成 年 月 日

熱海市熱海地区における津波対策の基本方針（素案）

静岡モデル推進検討会 あて

熱海市津波対策熱海地区協議会

今後発生が予測される大規模地震に伴う津波被害を可能な限り減らすための、熱海地区におけるハード対策・ソフト対策の在り方について、下記のとおり基本方針（素案）を取りまとめましたのでご報告します。

記

- 1 最大クラス（レベル 2）の津波に備えた迅速かつ主体的な避難を最重要の対策と位置づけ、避難を後押しするソフト対策を推進する。
- 2 観光を中心とする産業、海岸線の景観や利用に配慮し、スカイデッキ・レインボーデッキ・渚デッキの既設天端高 6.6 m にあわせ、その他の防潮堤等の新設またはかさ上げを実施するとともに、糸川、初川、熱海和田川の河口部に水門を設置する。
ただし、和田浜南地区については、新たな防潮堤等の整備を行わないものとする。
各施設の位置、天端高等については別表および別図のとおりとする。
- 3 整備施設高を超える津波に対しては、避難によって命を守るため、熱海市の津波避難計画を基本として別表および別図による短期・中期・長期対策を実施する。
- 4 これらの津波対策について、地区・県・熱海市・関係機関が協力し、着実に実施していくとともに、今後も継続してソフト対策等を検討していく。

なお、静岡県地震津波被害想定等が見直された場合は、上記基本方針（素案）についても、適宜見直すものとする。